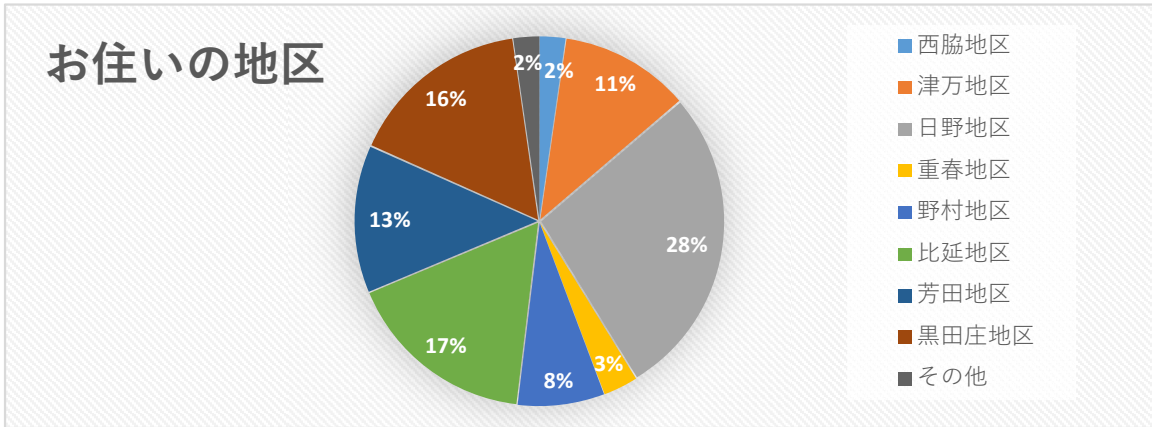
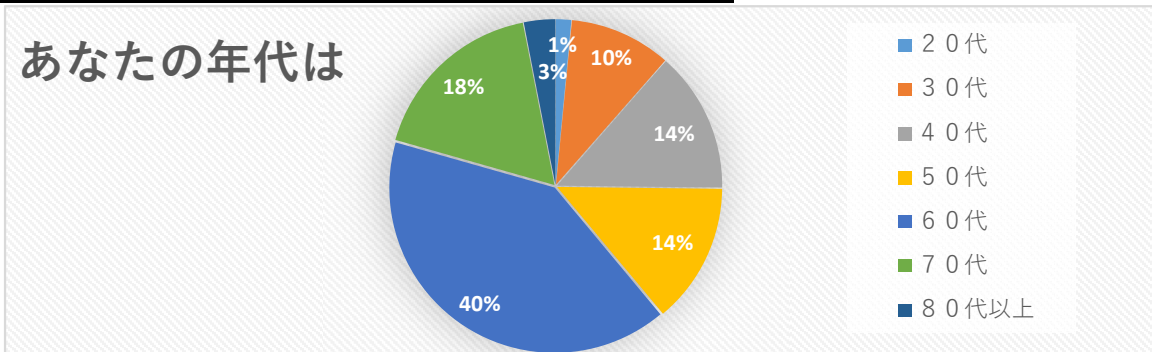


開催日	場所	参加人数
令和4年2月19日 13時30分から	茜が丘複合施設みらいえ	6人
令和4年2月20日 10時から	市民交流施設つながるスタジオ	4人
令和4年2月20日 14時30分から	市民交流施設つながるスタジオ	18人
令和4年2月26日 13時30分から	芳田こども園	28人
令和4年2月26日 18時30分から	野村町公民館	11人
令和4年2月27日 14時から	コミセン比也野	32人
令和4年3月5日 13時30分から	黒っこプラザ	28人
令和4年3月5日 18時30分から	サンパル日野	43人
計		170人

質問1	○ 住んでいる地域はどこですか？			
	西脇地区	3人	比延地区	22人
	津万地区	15人	芳田地区	17人
	日野地区	36人	黒田庄地区	21人
	重春地区	4人	その他	3人
	野村地区	10人		

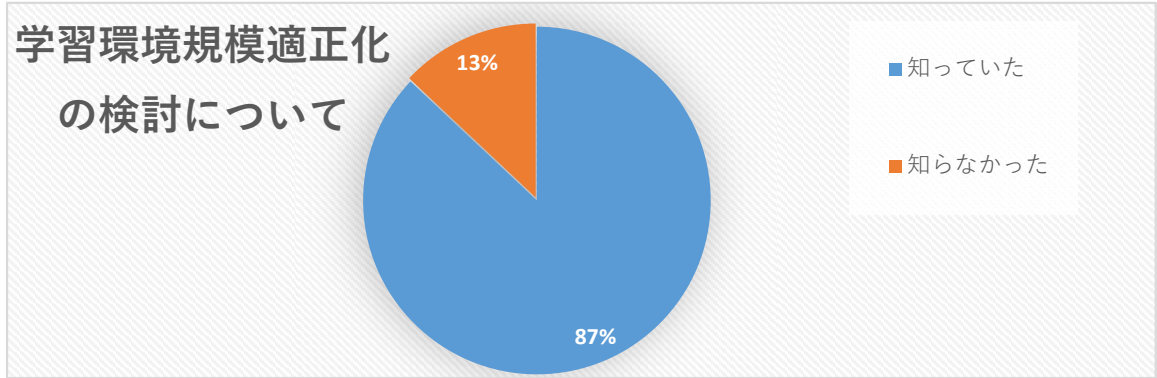


質問2	○ あなたの年代は？			
	20代	2人	60代	53人
	30代	13人	70代	23人
	40代	18人	80代以上	4人
	50代	18人		

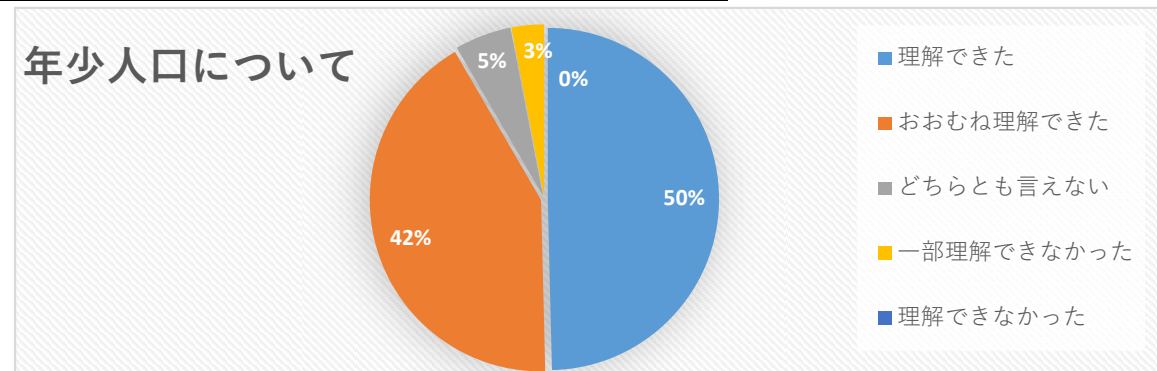


質問3	○ お子さまの現在の就学先は？		
	就学前保育（こども園、保育園、幼稚園など）		13人
	小学校		25人
	中学校		9人
	高等学校以上		3人

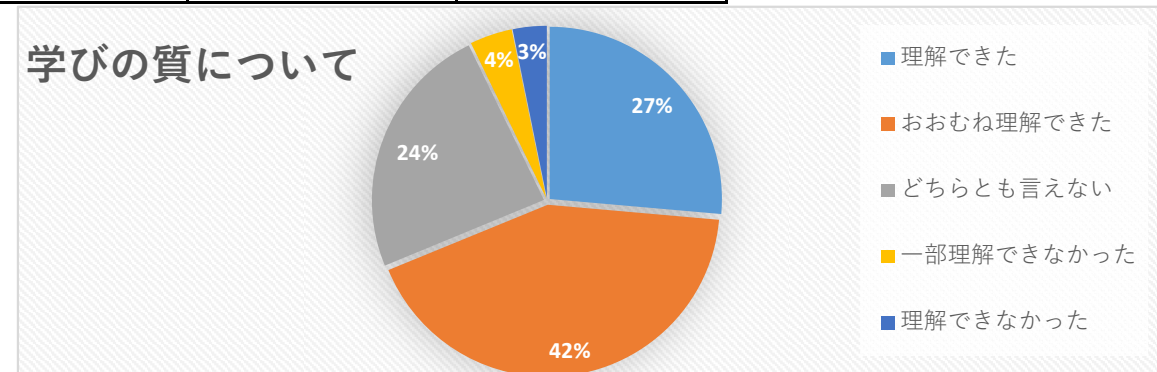
質問4	○ 学習環境規模適正化を検討していることについて…		
	知っていた	114人	知らなかった 17人



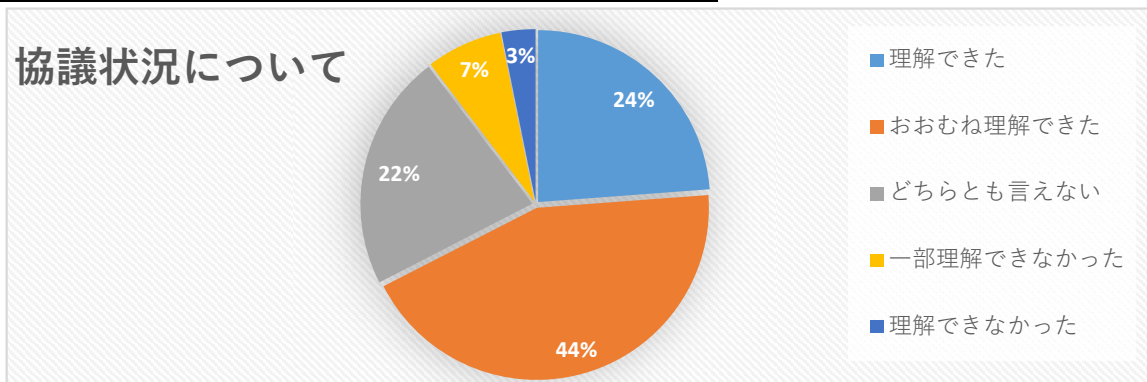
質問5	○ 西脇市の現在の年少人口及び年少人口推計について…			
	理解できた	65人	一部理解できなかった	4人
	おおむね理解できた	55人	理解できなかった	0人
	どちらとも言えない	7人		



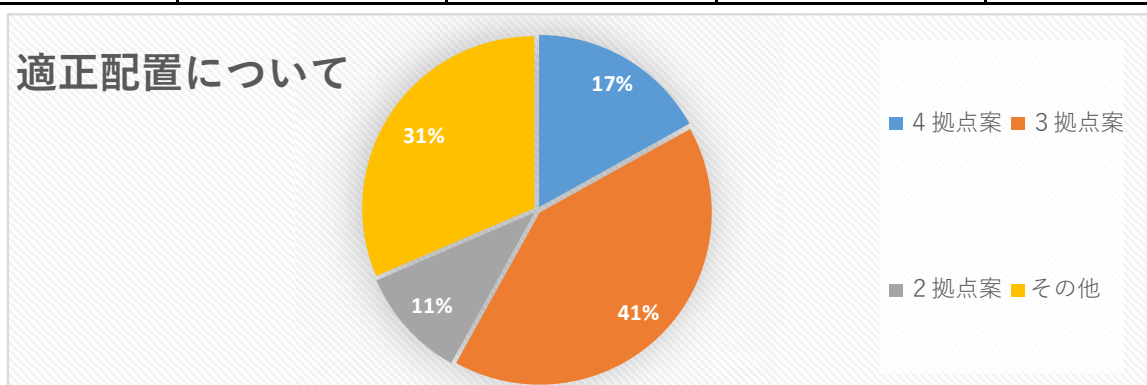
質問6	○ 西脇市がめざす「学びの質」について…			
	理解できた	33人	一部理解できなかった	5人
	おおむね理解できた	53人	理解できなかった	4人
	どちらとも言えない	30人		



質問 7	○ 適正な学校規模・配置に係る協議状況について…			
	理解できた	30人	一部理解できなかった	9人
	おおむね理解できた	55人	理解できなかった	4人
	どちらとも言えない	28人		



質問 8	○ 適正配置についてあなたのお考えに近いものは…			
	4 拠点案	21人	2 拠点案	13人
	3 拠点案	51人	その他	39人



質問 9 ○ 質問 8 についての意見・理由

・ 4 拠点案

- 現状の中で今後の選択肢が広がると考えているから
- なぜ日野小が西脇小に統合されるのか？逆の考えもあっていいではないか。
- 長期的な視点も必要だとは思うが、激変はよくないと思う。過疎化が進みそうでもあり、心理的に受け入れがたい。
- 少人数のきめ細やかな教育が大切だと思う。子どもの性格によって適正な規模は異なると思う。
- それぞれの校区→西脇市の街づくりのビジョンとの整合性
- 生徒数が少ないと専任の先生が確保できないとのことだが、確保できるよう法律自体を変えればよいのではないかと考える。
- 4 拠点案を実行し、その次の段階として将来的に 2 拠点案にするのが現実的だと思います。
- 比延地区と黒田庄地区とでは地理的にも違いがある。学校文化を大切に地域づくりともからめて検討していただきたい。
- 廃校は地域の活性が減退していくことになるので残念である。
- 4 拠点案が行き詰まる時代が来れば、再編もやむを得ない。人口が増えることを望むのみ。
- 地域の活動のためにも各地域に学校は必要

・ 3 拠点案

クラスの数と数（群れの中で学ぶコミュニケーションの力）
15年先を見据えた場合、この案しかないのではないかと思う。
規模の維持。中高一貫教育
場所はどこでもいいです。子どもが学級適正人数の中で仲直りしたり、ほど良い距離を取れたり、人間関係をリセットできたり、社会に出たときに生き抜く力をつけられる多くの人間関係の経験を学んでくれたらと思います。そのため、早く統合してほしいし、すでに少人数のところから着手してあげてください。
規模だけを考えれば3拠点だと思うが、魅力ある学校を考えてほしい。
通学の問題をクリアできるのであれば、2拠点案でもやむなしと考えます。
小中一貫は人間形成である。
人口や地域性を考慮すると3拠点プラス特認校を残す。
必要な教職員を確保するため
3拠点案が当該地域の負担が少なそうなため
学年の複数学級、教職員の適正配置が望ましい。
小学校はやはり地元に、まずは馴染んだ方が良いと思う。
クラス替え複数学級の持続のためにも3拠点を選びます。
小学校が分かれている方が良いのか悩みます。
何を基準に考えるのかによるが、生徒人数を基準にすれば将来にわたり20年ほどの間では増える見込みはなくとりあえず3拠点なのかなと考えます。
小学校は少人数、中学校は人数が増えたらいいと考えるため
人数が増えれば良いとは限らない。小規模の学校に通っている子どもたちは幸せそうに見える。
中学校1校、小学校2校…比延小、楠丘小の3拠点案が現実的。10年から15年後に次の段階で中学校1校、小学校1校に進むのはやむを得ない。
地域の思いを少しでも反映してほしい。
現状から考えても一番入りやすいと思う。
現在のきめ細やかな教育を継続してほしいと思うので、3拠点案の中でも小学校は2拠点が望ましいです。
誰もが納得いく方向に行くには難しいことがよく分かった。
適正な学習集団を形成するには、人数が必要である。
小学校を4つ残してほしいから。徒歩とバスがあっても良いのかと思う。
人数が一緒になることで役員に当たる回数も減るため助かります。交通手段（バス通学なら無料など）さえ決めていただければ助かります。
多可町八千代校区のバス通学で問題があると耳にしました。いずれにしても様々な問題は出てくると思いますが、すばやい対応が一番大切だと思います。
児童、生徒数減少で仕方がないと思う。小中一貫教育が良いと思う。
ある程度の生徒数を確保できる方法であると感じた。
4拠点が本来なら望ましいと思うが、諸事情を考えれば3拠点かと思う。

・ 2 拠点案

3 拠点にしても第3 拠点では子どもの数としては△がある。長い目で見れば2 拠点になる。
西脇の人口を増やす策がないのなら、学校を減らすのはやむを得ない。教師の負担減で言うと、部活は地域に任せればよい。
10 年であれば、3 拠点でも可能であると考えますが、15 年とした場合、複数学級を確保するためには2 拠点しかないと思う。
小学校は4 拠点、中学校は2 拠点が小学生と中学生では行動範囲が異なること、中学生では部活動が大きな要素になるとから良いと思う。
人口の推移から
将来、人口減少し児童数も減少するので20 年30 年見越して思い切りやったらどうか。ただし、特認校の良い点もどこかで生かしていただきたい。
中学校は2 拠点が良いと思うが、小学校は地域になくてはならないと思う。
まず人数で考えましたが、確かに遠距離通学が生じるものの2 学級が成立しないのでは学校運営としても難しいと思う。通学はすべてスクールバスで対応してほしい。
先を見て4 拠点にしてもすぐにまた変更になると感じました。
人口減少は止まらない。

・ その他の意見

合併することのメリットはよく分かるが、小規模校のメリットも大いにある。地域の拠点がなくなる寂しさもあり、今後の検討をお願いしたい。
このままでいいと思う。
1 クラスの適正人数の面において、再編成はが必要なのは理解できるが、地域の子は地域で守るとか町づくりの観点から今の学区を基本に知恵を絞ってデメリットを克服できないでしょうか。
地域の活性化を市は考えるべきで、統合ありきで進めないでほしい。小学校が地域からなくなると過疎化がより進むのではないのでしょうか。部活ができなくなる、大勢での協議ができなくなるなどマイナスな事ばかり聞きましたが、反対意見はなかったのでしょうか。少人数だから目が行き届き、じっくりと教育を受けることができるのではないのでしょうか。分校という形も考えられませんか？遠い学校になると保護者も子どもも負担が大きい。
何がベストなのか、どこを目指して進んで行くべきなのか。よく分からない。
1 拠点案も考えてください。
加東市のように1 拠点でもよい。
1 地区にまとめた方がよい。
児童数により1 拠点も含めて判断すべき
市内1 校でまとめる。
西脇小学校に通っている一部（郷瀬町、小坂町）を、日野小学校へ通学させれば良いのではないかと。
子どもたちをどう教育するのか、そのための環境づくりをどうするのかの視点の議論がまだ整っていないように思いました。
市のビジョンがはっきりしない。
少人数できめ細やかな指導ができる、歩いての登校も教育である。地域に学校がなくなれば若者が住まなくなる。人口が減ることよりも増えるように住みよい町づくりをしてほしい。また加西市は、小学校は地域に必要であるとして残す方針と聞きました。日野小学校は残してほしい。

日野小を残してほしい。黒田庄地区も比延地区も拠点となる学校は地区に必要なと思う。西脇で子育てしたいと思えるような、子どもが増えるような町づくりをしないといけない。
小人数でも担任や他のクラスの先生とのコミュニケーションも取れている。縦割り班など異学年交流もあり良さがある。一緒になる中学校の生徒とも自然学校などで交流もあり小人数でも子どもたちは生き生きできている。日野小学校がなくなるのは嫌です。西小が日野小で学ぶ方がいいではないでしょう
4拠点以外2拠点か3拠点は現時点ではわからない
学習環境の視点で判断するとすれば、将来2拠点案を想定した3拠点案が良いのではないかと思う。
中学校校区の選択制。ある程度自由に選択できる制度
時期尚早
小学校・中学校の統合には反対。特認校は別途
市全体を考える中でもその地域の特性を大切にしてほしい
どれがいいのか分からない
小学校を残して中学校から統合し（各地区の様子を見て統合していく）
現状のままでよい
ある程度統合することは仕方ないと思うものの、子どもが在学中に統合となると馴染むことができるのか不安がある。統合するなら小学校の入学時点にしてほしい。
中学校は2拠点。小学校の数は議論の余地があると感じた。
中学校は適正規模を考えること必要だが、小学校はそれぞれの地域に文化として残すべきである。
判断できない。
4拠点+α 集団生活になじめない子どもをケアする拠点を置く。
拠点案について良いと思いますが、根本的に少子など他のために先延ばしになっているだけのように感じます。
人口減少と集約化のいたちごっこになっている。集約化にも限度があることを考えると小規模校でのきめ細かい授業、教育に徹すべきではないか。1学年2学級以上を目指すのにも限度がある。20年経てばまた1学年1学級になってしまうのではないか。
どれが適正かは現状を踏まえ、決まったものに従えばいいと思います。

質問10 ○ 将来の子どもたちの義務教育9年間の学習環境を考える際、大切にすべきこと、配慮すべきことについて
クラスの人数と数（群れの中で学ぶコミュニケーションの力）
子どもたちの個性を生かしつつ、生き生きと学校に通う姿を大切にしたい。社会や人との関わりを大切にしたい。
将来、西脇市に子どもたちが帰ってくるができる仕事ができる環境が必要
人間力、体験、気づきの機会
理想は30人学級です。1クラス30人にすれば担任の先生の負担も軽減され子どもたち一人ひとりに目が届くと思います。
先生が昔みたいに怒ったりできなくて、この先心配です。もうちょっと厳しくしても良いと思います。
都会に負けない教育環境
学校現場の先生だけ負担をかけていては教育活動はスムーズにやっていけない時代。地域が支えたり、協力を得たりする方法を考えていただきたい。

学校と地域との関連性を考えてほしい。
思いやりを育てる教育
子どもたちの想いもしっかり聞いてほしい。時間をかけてほしい。人数が少ない方が落ち着く子どももいるし、音楽や体育などのみ合同でしたらどうか。
学校がないところに、若い人は帰ってきません。十分に考えてください。
将来の子どもたちのことは、私には分からないところがありますが、臨機応変でよいのではないのでしょうか。
障害のある人もない人も暮らしやすい市にしてください。住み慣れた地を離れ特別支援学校へ進まざるを得ない人をなくせれるようにしてほしい。
子どもたちに対していつでも対応できるように、メンタルアドバイスやカウンセラーの配置を望みます。
子どもの教育の公平性、平等性
話を聞くと後ろ向きの話しか聞こえてこない。プラス思考も大事だと思う。
自分が住んでいる土地の歴史、建造物等の学習環境を充実させてほしい。
子どもをどのように育てていくのか、方向性が分からない。それが分かってから大切にすべきことを考えたい。
現中学校区ごとに既存または新たな中学校舎を使って小中一貫・統合を図るやり方が良いと思います。
学校が統合となる場合、子どもたちの心のケアができるようにしてほしい。小中一貫になるのであれば、特に必要だと思う。あと先生の配置が決まっていると聞いたが、そこを増やさないと先生たちの労働環境は変わらないと思う。
加東市のように、小中学生が一つの校舎で学ぶのが良いのでは？
統合時に子どもたちの中でホーム、アウェイ感が生まれぬような配慮をお願いしたい。
重小は人数が多すぎます。重小西小の一部を第3拠点に振り分けることは無理ですね。
いつの時代も教員の目的はただ一つ、自分自身で考える力を持つ子供をつくること
子どもたちが学べる環境を大切に考えてほしい
現場の先生方の意見も聞いてみたい。
学習環境について検討するのであれば、もう少し早くにしてほしかった。また人数が少ない学校のデメリットとともに、大規模校の学習環境のデメリットも検討していただき、課題があれば改善を図っていただきたい。
自分の意見を正しく言える人間性
将来社会を担っていく人材
先生方が教育に集中できる環境をつくること
地域との関係（通学等を含め義務教育を安心して受けさせれる環境）
子どもと先生と保護者とのつながりが大切。また今までがどうかではなく、西脇市独自で新しい学習環境を作り出し、子ども達により良い教育環境を作っていく。
多感な中学生と同じ空間に小学生がいるのは大丈夫なのか。教育の面ではスムーズに進むかもしれないが、その他心配なことが多いのではないか。
小学校1年から中学校3年まで他地区で教育を受けるようになった時、地域が育み、育てる意識の低下、子どもたちの地元に対する愛着・郷土愛の育成の配慮が必要

小規模特認校は地域の特性から尊重すべきである。
子どもたちの教育を第一に。
教育環境は学校現場だけの課題ではなく、西脇市の描く街づくりを併せて考える。
学びあい、競い合える集団づくり
一人ひとりを大切にした教育の展開
子どもの発達・成長を考えるべきだと思います。
学習時間を確保すること。通学手段についてはバス等を確保し、影響が出ないようにすること。
良い先生がおられればと思う。
生徒は縦のつながりをひろげ、地域一人ひとりのご協力により明るい地域になること願います。
答申後、3拠点ないし4拠点が決定後も地域の説明会をこまめに開催していただきたい。統合される側、廃校になる側両方とも。
時代が変化している波には逆らえない。波に乗らねばならない。児童・生徒を大切にす理念でやっていただきたい。
何回も何回も丁寧に保護者や住民への説明を行ってほしい。
小中移行の際にギャップを少なくしてほしい
学力アップも大切だが、人間性を重視する内容も検討してほしい。
部活動についてはかなり少なくなっている。やはり大人数が大事ではないかと思う。
教師の再教育。子ども一人ひとりに目が届く教育
いじめられたり、自殺する子をださない。
個々の子どもに合わせた学習環境を！
将来に夢、希望を持つ子供を育てる。不登校児をなくす。いじめの根絶
広く一般へ説明も必要です。当事者である小学生・中学生の保護者の意見をしっかり聞いてもらいたい。子どもたちにとっても大切な学びの機会と考えます。
社会性・社交性・倫理的観点を主に勉学を学んでくれれば良いと思います。
子どもたちの全面発達を保証すること
小規模で結構。子どもたち一人ひとりにきめ細かい教育をお願いしたい。大規模・集約校では黒田庄の子どもたちは立派な社会人になれないと思う。
7月の答申までに保護者の意見をさらに聴くことは必要だと思います。どんな意見がでたのか詳しく知りたいように思います。
同級生は多い方が良い。どんどん統合していければよいと思います。
人口減による学校統廃合は仕方がないと思うが、義務教育を6・3年制をなくすことをいっしょに考えるのはどうかと思う。別々に議論すべき内容だと思う。小野や加東での実践からのデメリットなど知りたいです。
自立するうえで集団生活・行動は大事だと思うし、人数がいないと進学や就職などの時に必要な競争力が不足する恐れがあると思うので、人数確保をしていただきたい。
子どもたちを第一に考えてください。
子どもたちには活気のある、友達の多い学校に行ってほしいと考えています。
核家族、一人親家庭が増える中、地域とのつながりを大切にしたい。子どもたちが地域の宝となるようみんなで育てるという意識を持てる取組を望みます。

○ 当日の意見の概要について

- ・生きていく力を育むには、ある程度の学校規模は必要。群れの中で子どもたちが育つことは大事なことでと思う。ただ、いろんな子どもがいるので画一的には考えられないところはあるように思う。
- ・目指したい学びの質について、今後とも考えていかなければならない課題だと思う。制約があるとは思いますが、枠の中だけで考えずに行ってほしい。
- ・区長の立場からすると、学校がなくなると地区のまちづくりができなくなってしまう危惧がある。しかし、子どもたちのことを考えると致し方ないのか、新たなまちづくりの形を考えないといけないのかなと思う。
- ・子どもの数が減っているのを見ると愕然とする。しかしネット環境で授業を受けることができるのであれば、このままの小規模でも良いように思う。
- ・学校になかなか通えない子が、午前中だけとか午後だけとか通おうとした場合、スクールバスでは対応できないのではないかと、その辺りのところも検討していただきたい。
- ・子どもの数が減るのは今の流れでは仕方がないことだと思う。その周知・広報をしっかりとやっていただきたい。
- ・3拠点案が良いと思うが、その地域の方に理解してもらうための説明会を行い、該当地域の方の意見をよく聞くように努めてください。
- ・通学距離が遠くなる子どもたちについて、地域のバスを利用するのならば、無償化するなど何らかの対応を行うようにしてください。
- ・子どもたちの通学について、安全確保などの対策をしっかりとやっていただきたい。
- ・2拠点案について、今後5年10年15年とまだまだ先が読めない中で行うのは、時期尚早のように思う。
- ・先生方の負担を減らさないと、子どもたち一人ひとりを見るのが難しくなってしまう。西脇市が考える学びの質にその辺りのことも盛り込むようにしてほしい。
- ・中学校は、一クラス40人というのが決まっているそうだが、教室自体が狭く混雑している。コロナのこともあるので、その辺りに関しても考慮してほしい。
- ・人間の成長は学校だけではなく、地域との繋がりも大切である。子どもの数だけで再編の話を進めるのは、どうかと思う。
- ・学校や地域にとっても、地域の人材の活用や協力を得られる体制づくりが大切だと思う。
- ・西脇市で育って、就職し、家を建て、結婚し、子どもを育てる、そういった循環できる体制づくりを西脇市はもっと考えないといけないのではないかと。
- ・少人数できめ細やかに見ていただける環境が良いのではないかと以前から思っている。再編を行うならば、中学校から行った方がいいのではないかと。
- ・予算的なことで再編するを検討しているとしたら納得できない。少人数には少人数の良いところがある。再度検討してほしい。
- ・統合案について、そもそも統合しないという案はないのか？
- ・統廃合は難しい問題。統合される側は、地域にしろ保護者にしろ心配だと思うし、特に子どもへの配慮が必要だと思うので、その辺りのケアをしっかりとってほしい。
- ・適正人数のことを考えると、子どもの数が一桁やそれに近い数の学校は、早急にならざるを得ないと思う。子どもたち同士で学ぶこともあり、変化がないと成長もできないと考える。

・特別な支援が必要な子どももいる。統廃合で学校までの通学が遠くなると、通うことができるのか不安である。

・学校の統廃合は仕方がないと思うが、既存の学校（施設）に統合されるだけだと、魅力がないなと思ってしまう。統合することで新しい校舎ができるとか、新たな場所に大学のキャンパスみたいなのができるとか、そういった方向であれば地域の方も納得されるのではないかと思います。

・学びの質の中で、小中一貫校とか4・3・2制とか出てくるが、今ある施設を使うとなると難しいのではないと思う。こういう子どもを育てたいとか言うのであれば、多可町や加東市のように新たな学校を建てるなど、そういったことを考える必要があるのではないだろうか。

・単純な疑問だが、案にある小学校の統廃合について、再編される側を逆にするという方向は考えられないのか。また、統合される地域の住民に納得できる説明、フォロー案など出していただきたい。

・年少人口の減少を見ると統廃合やむなしと思う。ただ一つ意見として、双葉小学校は子どもの半分がバスで通っているが小規模特認校として生き残っている。双葉小学校存続のため当初始まったが現在半数が他地区から市外から移住した方もいる。合併するのは致し方ないと思うが、小規模特認校制度を別の小学校でできないかと思う。

・3拠点にするのならば、校区を選択できるような、いろいろな学校へ通えるようなことを考えてもいいのではないと思う。通学方法など予算がかかるのかもしれないが、教育はお金がかかっても良いのではないか。

・発達段階の子どもは、歩いて通学することで体力づくりができる。統廃合で、スクールバスを利用し通学するとその効果がなくなるため、統廃合には反対である。

・単純に統廃合だけを考えるのではなく、別のアプローチとして、もっと流動的に学校の運用はできないのか。

・それぞれの案にメリット・デメリットがあり難しく思う。ただ、クラス替えができるような学級数、先生の数、ということは子どもにとってメリットなのかなと思う。

・15年間という期間で計画を立てるとののだが、15年の間に様々な要因が発生すると思う。できるだけ慎重に考えてほしいと思う。